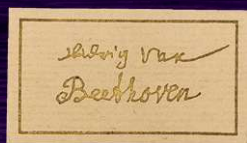


TETSUO SUGIYAMA PIANO RECITAL

杉山哲雄 ピアノリサイタル



(全10回)

ベートーヴェン ソナタ連続演奏会

シリーズⅢ

傑作の森 (全2回)



⑦ 2026 10/18 日

午後2時30分開演(2時開場)

ソナタ 第5番 ハ短調 作品10-1

ソナタ 第18番 変ホ長調 作品31-3

ソナタ 第24番 嬰ヘ長調 作品78「テレゼ」

ソナタ 第21番 ハ長調 作品53「ヴァルトシュタイン」

⑧ 2026 12/5 土

午後2時30分開演(2時開場)

ソナタ 第13番 変ホ長調 作品27-1

ソナタ 第15番 ニ長調 作品28「田園」

ソナタ 第22番 ヘ長調 作品54

ソナタ 第23番 ヘ短調 作品57「熱情」

銀座 王子ホール

(銀座4丁目三越新館隣 TEL.03-3564-0200)

全自由席 ¥5,000

セット券(全2回) ¥7,000

(下記 新演コンサートにて扱い)

※未就学児のご入場はできません

前
売

王子ホールチケットセンター03-3567-9990(土日祝を除く10:00~18:00)

チケットぴあt.pia.jp(Pコード334-485)

CNプレイガイド0570-08-9990 www.cnplayguide.com

チケットぴあ



CNプレイガイド



主催：杉山ミュージック・アカデミー



ご予約・お問合せ・マネジメント：ShinEn 新演コンサート 03-6384-2498(土日祝休10:00~18:00)



⑨ 2027 4/18日

幻想曲ト短調 作品77
ポロネーズ ハ長調 作品89
ソナタ 第27番 ホ短調 作品90
ディアベリのワルツによる33の変奏曲 作品120

⑩ 2027 6/13日

～最後の3つのソナタ～
ソナタ 第30番 ホ長調 作品109
ソナタ 第31番 変イ長調 作品110
ソナタ 第32番 ハ短調 作品111



Kurfürstliches
Schloss(選帝侯宮殿)/
Bonn

これまでに終了したシリーズ…

シリーズI ソナタからフーガへ(全3回)

① 2025 10/2木

ソナタ 第1番 ヘ短調 作品2-1
ソナタ 第4番 変ホ長調 作品7
ソナタ 第7番 ニ長調 作品10-3
ソナタ 第14番 嬰ハ短調 作品27-2「月光」

② 2025 11/11火

ソナタ 第3番 ハ長調 作品2-3
ソナタ 第8番 ハ短調 作品13「悲愴」
ソナタ 第20番 ト長調 作品49-2
ソナタ 第28番 イ長調 作品101

③ 2025 12/11木

ソナタ 第6番 ヘ長調 作品10-2
ソナタ 第12番 変イ長調 作品26「葬送」
ソナタ 第29番 変ロ長調 作品106
「ハンマクラヴィーア」

シリーズII ソナタと変奏曲(全3回)

④ 2026 4/19日

ソナタ ニ長調 作品6(連弾)
ソナタ 第10番 ト長調 作品14-2
3つの行進曲 作品45(連弾)
32の変奏曲 ハ短調 WoO80
ソナタ 第2番 イ長調 作品2-2
ソナタ 第17番 ニ短調 作品31-2「テンペスト」

⑤ 2026 5/24日

ソナタ 第19番 ト短調 作品49-1
ソナタ 第11番 変ロ長調 作品22
ソナタ 第25番 ト長調 作品79「郭公」
15の変奏曲とフーガ 変ホ長調 作品35「エロイカ変奏曲」

⑥ 2026 6/28日

ソナタ 第9番 ホ長調 作品14-1
ソナタ 第16番 ト長調 作品31-1
6つの変奏曲 ヘ長調 作品34
ソナタ 第26番 変ホ長調 作品81a「告別」



杉山 哲雄 プロフィール

三重県伊勢市出身。東京藝術大学器楽科卒業、同大学院修了。1974年クロイツァー賞受賞。1975年オーストリア政府給費留学生としてウィーンに留学、1979年ウィーン音楽大学卒業。1980年帰国後はリサイタルを中心に演奏活動を行う。1985年バッハ生誕300年記念リサイタルを始め、古典調律によるモーツァルトのタベヤベートーヴェン・リサイタルを開催、ウィーン古典派の伝統を踏まえた演奏により高い評価を得ている。シューベルトやシューマンのロマン派の魅力を伝えるプログラムや、ショパンの作品に隠された動機の統一や三拍子の展開にも視点を広げ、30回を数える演奏会で幅広いレパートリーを獲得している。最近ではベートーヴェンの作品に焦点を絞り、変奏曲

やフーガを含む総合的な音楽形式として完成されたソナタを中心に演奏活動を続けている。2020年ベートーヴェン生誕250年には、“ベートーヴェンと三人の先駆者”のタイトルで、バッハ・ハイドン・モーツァルトとベートーヴェンの作品による三回のトーク・リサイタルを開催し、鍵盤音楽史を辿りながら時代様式と作曲家の個性を対比させ、大きな成果を挙げた。没後200年(2027年)に完結する今回のベートーヴェン全ソナタの連続演奏会は、変奏曲と連弾曲を含めた意欲的な取り組みで、ベートーヴェンの創作の本質に光を当てるものである。横浜国立大学名誉教授。杉山ムジーク・アカデミー主宰。